

たか……。

笹子氏 たから不良分子を聞かうではないか。

大屋氏 何は不良分子を除くまいやろか。

村上増氏 不良分子の中にも脅迫を受けて善い分子が這入って居る。其れを見たいすまは？。

大屋氏 御互が選ばせなさい、さうすれば能率も発揚する。棚からぼた餅式、

事はないのだから。

村上増氏 考へのある人々はないと思ひますから。

大屋氏 其故竹内さんの大慈大悲の言が判る分だ。皆迷惑を怨り船主の迷惑を怨り許りでなく因島工場は世間を認められなくばなる。

竹内氏 因島の問題がなく社会的な問題である。

大屋氏 派を吞んで馬鹿を斬る、小を殺して大を助くる為め、徹底的治療をせよ

はならん。

野呂氏 然し目撃付いた者だけではない。……

西牧氏 否、私どもに残る居る。

竹内氏 諸君も選んだらよい。併し此事は……

一同 同感でありませう。

竹内氏 其方法を実行する？。

越田氏 長引く方法のゆるると生活の脅威が恐ろしい。場長の申し渡した様、心捧して戴きたい。

竹内氏 相手次第だ。相手に依りて法を説いた。

西牧氏 資格者が團結すれば善良な者を以て起す事が出来なかい。

越田氏 善良な者は意氣地かい。

笹子氏 正義と戦ふ考へはないか？。

野呂氏 それがあるれば此度の争議は惹起しない直接間接に自分等も来るが、

自然雷同するものも危険を考慮する為何……。